

4-6

事故防止・環境整備委員会

転倒・転落事故防止への取り組み

リスクマネジメント

サービスの質の向上

中野区かみさぎ特別養護老人ホーム

介護職員 島村英里	渡辺知子、杉村琴美、北畠祐司、新谷真也、北崎悟
東京都中野区上鷲宮3-17-4	
TEL：03-3926-8443	E-mail：info@m-kamisagi.jp
FAX：03-3970-9620	URL：http://www.m-kamisagi.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人武蔵野療園を母体とし、昭和63年に開設。入居100床、ショートステイ16床で運営している。通所介護（一般型、認知症型）、居宅介護支援、訪問介護、地域包括支援センター（受託運営）を併設している。
----------------------------	--

<p style="text-align: center;">〈取り組んだ課題〉</p> <p>転倒・転落事故の発生件数が減少しないことは、施設において長年の課題となっている。また、フロア間において、事故防止対策の共有化が十分に行なわれていない（特に委員や役職職員以外の職員）ことも課題となっていた。そこで、既存のリスクマネジメント委員会と連動する形で、「事故防止・環境整備」を目的として、複数フロア間のメンバーを選抜し、ワーキングチームを立ち上げた。事故状況の分析や個別対応の周知徹底を図るとともに、各フロア間の情報共有を目的として毎月活動を行ない、その活動内容について、課内研修で報告を行なった。</p> <p style="text-align: center;">〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 転倒・転落事故発生状況の分析<ul style="list-style-type: none">・ ADL タイプ別・ 発生場所別・ 発生時間帯別○ 環境的・身体的・精神的要因の傾向を分析○ 個別状況分析○ 危険予知トレーニング 書籍からの引用と、実際の介護現場の写真を使用して行なった。	<p style="text-align: center;">〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事故防止対策をフロア間で広く共有化できたため、その後の事故防止対策の立案の際に、選択の幅が広がった。・ 一部の職員以外にも、事故要因の分析が重要であるという認識が広がった。・ 危険予知トレーニングを継続的に行なっており、普段から危険な状況について話し合うこと、事故や危険と考えられる状況と対策の共有が出来るようになりつつある。 <p style="text-align: center;">〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 危険予知トレーニングの継続と効果の検証・ 個別事故防止対策の徹底・ 困難事例・繰り返し発生する事故への対策強化 <p style="text-align: center;">〈参考資料など〉</p> <p>福祉施設における危険予知訓練（KYT）かんたんガイド</p>
--	--

【メモ欄】